

策定委員会における主な意見の概要と素案（案）への修正の方向

令和元年9月

品川区企画部

1. 計画全体に関するご意見

NO	政策の柱	意見内容	修正の方向
1	-	「地域」、「人」、「安全」というくりについては大変よいが、具体的施策レベルでは縦割りの印象が強い。	各政策の柱における文章や具体的な施策において組織横断的な表現を記載するとともに、「総論」において計画全体で踏まえるべき4つの視点に関する内容を記載した。
2	-	全体的に総花的な印象を受ける。具体的な施策において、もう少し踏み込んだ施策を記載してはどうか。	各政策の柱において、文章表現等を工夫するとともに、「総論」において、4つの視点や3つの分野の考え方など、区の目指すコンセプトについて記載した。
3	-	10年前の基本計画に比べて、今回の基本計画では大きな社会的変化もあるため、どのように表現していくかということで工夫が必要である。	「総論」において、社会経済状況の変化等に関する文章を記載するとともに、それをふまえ各政策の柱についても対応する内容を記載した。
4	-	「具体的な施策」について、具体的なものと漠然としたものがある。レイヤーの統一、意味合いの統一を図っていただきたい。	各政策の柱の内容に応じた形で、表現を調整した。
5	-	総合計画の特性として、各分野別の計画や各分野の言葉遣いと調整があるため、個別計画を踏まえて区民がわかるように検討していただきたい。	個別計画との整合を図りつつ、区民への分かりやすさを意識した言葉使いとして全体的に作成した。

2. 「地域 にぎわい 活力」分野

	政策の柱	意見内容	修正の方向
1	誰もがつながる魅力ある地域社会の実現	これからの福祉の分野において、地域の助け合いが非常に重要なテーマとなる、「支え愛ほっとステーション」も進められているため、地域において助け合い活動を育てていくという視点がほしい。	「10年後のめざす姿」や「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」に、地域での活動の内容について、支え合いや福祉、防災、子育てなどの活動を追記
2	誰もがつながる魅力ある地域社会の実現	協働の推進において「地域連携の仕組みづくり」が含まれていない。「地域連携の仕組みづくり」は重要。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」に項目3「地域のつながりの醸成と安定した団体運営に向けた支援をする」の項目を追加。
3	誰もがつながる魅力ある地域社会の実現	高齢者や障害者と若い世代の方々との交流がなかなかうまくいかないということが課題。子どもたちや大人や高齢者、障害者の方が、多世代交流を実施することが課題解決の一つの方法になると思う。	「10年後のめざす姿」に「誰もが地域の一員として、気軽に社会貢献活動に参加できる」を追記 「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「3地域のつながりの醸成と安定した団体運営に向けた支援をする」に 「日常の身近なことや地域のことについて区民が話し合い、互いに支えあうなど、誰もが住みやすい地域をみんなで作れるような取り組みを進めます。」を追記
4	誰もがつながる魅力ある地域社会の実現	地域内の様々な関係機関、関連団体が連携することで、様々なメリットが生まれる。行政としては、こうしたイベントを実施する地域を支援するための中間支援が望ましい。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「3地域のつながりの醸成と安定した団体運営に向けた支援をする」に具体的な施策に「中間支援への活動に応じた支援」を追加
5	誰もがつながる魅力ある地域社会の実現	町会・自治会と新しく転入した住民とが地域と関わる必要がある。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「1地域課題を解決する自発的・自主的な活動を支援する」の具体的な施策に「地域とマンション管理者や居住者との協力関係の構築と交流促進」を追加
6	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり	生涯学習・スポーツについて、自分で学習するだけではなく、学習成果を地域に還元することで新しいつながりが生まれるようにすることが重要。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「2生涯学習・スポーツによるまちの活性化を推進する」に「『しながわ学びの杜』等で得たネットワークや学習成果を…還元する仕組みづくり…」を追加
7	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり	スポーツ施設の整備促進を明記すべき。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の3「生涯学習・スポーツの環境を充実する」の具体的な施策に「文化・スポーツ施設の効果的な利用の促進と施設の整備」を修正・追記
8	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり	スポーツの環境の充実には「みる」だけではなく、「する、みる、スポーツ」というような切り口で検討いただきたい。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の3「生涯学習・スポーツの環境を充実する」で、「するスポーツ」、「みるスポーツ」の文言を修正追記
9	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり	スポーツの拠点・ネットワークづくり等を、情報提供だけではなくことを示す工夫が必要である。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の3「生涯学習・スポーツの環境を充実する」で「ICTなどの先進技術も活用した環境整備」、「施設の整備」を追記
10	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり	地域に整備する施設は多機能化させることがこれからの傾向だと思われ、そういった表現を、今後10年をめざした姿として工夫して記載する必要がある。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「4図書館機能を充実する」において、「地域の様々な課題に応えるため、課題解決支援に向けた取り組みや施設整備」を追記

2. 「地域 にぎわい 活力」分野

	政策の柱	意見内容	修正の方向
11	伝統文化を継承し親しむ環境づくり	子どもたちが気軽にお囃子に参加をするにあたって、発表の場が重要。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「2 将来を支える次世代を育成する」に具体的な施策を追加
12	伝統文化を継承し親しむ環境づくり	歴史と伝統・文化の継承について継承を促進・支援するなどがわかるような表現に工夫する必要がある。	「伝統文化の継承を支援する」の項目から「将来を支える次世代を育成する」と「文化を継承・発展させる」の構成へ変更した
13	地域の活力を高める産業の振興	地域産業でのSHIPの役割は、創業支援に加えて交流がより大切である。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「2地域産業における創業や企業連携を支援する」に「事業者間の交流を図り、つながりを形成します。」を追記
14	地域の活力を高める産業の振興	AI、IoTについては、地元の企業がITやAIなど新技術を活用できるよう連携の仕組みや実証実験等を実施できるような場づくりが必要。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「3中小企業(地域産業)のチャレンジ(変革)と成長を支援する」に「Society5.0などを踏まえ、先進技術の導入や実証実験への参加・支援等で産業の発展と社会課題の解決を図っていきます」を追記
15	地域の活力を高める産業の振興	地域のにぎわい・交流の中心となるのは商店街でなければいけないと考えている。	「10年後のめざす姿」において「日常生活を支え、人々が行きかう交流の中心」に文言修正
16	地域の活力を高める産業の振興	商店街と地域住民が一体となったイベントを開催するのを支援するような仕組みが必要である。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「5区民の生活とにぎわいの中心である商店街を支援する」において、「地域団体や区民と連携した商店街事業の支援」を追記
17	地域の活力を高める産業の振興	魅力ある個店の育成支援の部分について、参入支援・促進等をもう少し膨らませたほうがよい。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「5区民の生活とにぎわいの中心である商店街を支援する」において「魅力ある個店のチャレンジを促進するための育成・支援」へ修正追記
18	まちの魅力を活かした都市型観光の推進	観光資源の情報については、区内を網羅した情報集積とコンテンツの充実を図り、これからの観光のあり方を提案し、実行したい。観光発信の強化・充実やまちめぐりなどの観光を目的とした自動運転の採用など、Society5.0の考え方を観光政策に取り入れていく必要がある。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」について、全面的に修正 ①コンテンツ、②情報、③連携、④環境整備、⑤組織の構成とした。
19	まちの魅力を活かした都市型観光の推進	品川区内は舟運の拡充等が求められる。他に負けないような魅力向上を目指すということがあってもよい。競い合うだけではなく連携というかたちも必要。他に負けないような目標を持っていただきたい。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」について、全面的に修正 ①コンテンツ、②情報、③連携、④環境整備、⑤組織の構成とした。 水辺の活用や他自治体との連携について追記
20	水と親しむみどり豊かなまちづくり	直近で品川区のハザードマップが発表され、被害想定を見ると水と親しむというのと安全安心が反する部分があるが、そのあたりは共存に向けた検討が進められているのか。他では川幅を広げるなどもあるが、区ではどのように検討されているか。	安全分野の政策の柱「区民を災害から守る対策の推進」の「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「2市街地の防災性を高める」にて、都市型水害の対策について記載

3. 「人 すこやか 共生」分野

NO	政策の柱	意見内容	修正の方向
1	地域における共生社会の実現	「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会」の中間報告にある国の方向性を踏まえた表現が良い。現状は、言葉遣いが表層的でしっかりとこない。中間報告中にある、「つながりの回復」と「支え合いの地域社会関係性」を作り、「断らない相談」というような表現も踏まえ、この柱と中身についても、もう一度精査をしたらどうか。	「10年後のめざす姿」の文章を整理し具体性を持たせるとともに、「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」に、地域住民相互の支え合い活動の活性化について追記。
2	地域における共生社会の実現	地域福祉計画の柱の1番目「気づく心とつなげる気持ちをはぐくむ」というような言葉が福祉で一番重要。2ページの「相互理解と支え合いを推進する」という項目は啓発だが、啓発という言葉で終わらせてはいけない。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の文章に「気づく心とつなげる気持ちを育む」と追記。
3	地域における共生社会の実現	3番の包括的な相談体制について、社協が区から委託事業を受けている「支え愛・ほっとステーション」を、在宅支援、障害者相談支援センターも含めて、トータルに見えるかたちでまとめてほしい。	「現状と課題」において、支え愛・ほっとステーションと在宅介護支援センター等との連携について追記。
4	地域における共生社会の実現	「地域共生社会」の項目は表現が抽象的である。一方的な助け合い、支え合いで終わらず、相互助け合う事が可能となるような具体的な文章を希望する。	「10年後のめざす姿」の文章を整理し具体性を持たせるとともに、「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」に、地域住民相互の支え合い活動の活性化について追記。
5	地域における共生社会の実現	地域共生社会のところでは、「10年後の目指す姿」で課題が記載されているが、ビジョンを全体的に表すようなかたちになるとよい。	「10年後のめざす姿」に記載されていた課題については、「現状と課題」に移行し、文章を修正。
6	生涯を通じた健康づくりの推進	がんなどの疾病対策について、予防のためのがん検診という項目があるが、検診受診率の向上について、明記してほしい。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「2がんなどの疾病対策や地域医療連携を推進する」のなかで、がん検診の受診率向上という文言を加えた。
7	子どもの笑顔があふれるまちの実現	経済的な理由で子育てを断念することのないよう、企業の支援をすることなども検討していただきたい。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「3 子育て支援・教育機能を拡充・強化する」において子育て家庭への経済的負担に関して記載。また「地域」分野の「地域の活力を高める産業の振興」で様々な企業の支援について記載。
8	子どもの笑顔があふれるまちの実現	保育士不足の具体的な解決策に触れられておらず、現在保育士として働いていない潜在的な人材の確保ができれば不足問題の解決に繋がると考えているような印象を覚える。人材確保・育成は障害者、高齢者分野でも大きな問題となっているが、その状況を踏まえた表現になっていないのではないかと。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「3 子育て支援・教育機能を拡充・強化する」に人材確保等の措置として、「保育人材の確保・育成を図るとともに、安全・安心な運営を行う」との項目を追加
9	子どもの笑顔があふれるまちの実現	区立児童相談所が開設されるというのは、区役所にとってはビジョンであるが、区民としては児童虐待がないということのほうが重要であり、ビジョンの話と細々とした話が重なっている。	「10年後のめざす姿」から固有の施設開設の文言は削除し、「児童虐待の防止」を主眼とした表現に修正した。
10	未来を切り拓く学校教育の推進	子供の学校教育について、勉強以外の事に興味を持ち頑張る子供達の未来や進路が広がるよう、ものづくりやアニメなど、様々な体験をさせてあげられるような環境や機会を提供・増やすことができるとよい。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「1未来を切り拓く力を育む教育を推進する」において具体的施策に「市民科教育の充実・発展」「伝統文化理解の促進」を追加
11	未来を切り拓く学校教育の推進	「読書活動の充実」なども大切であるが、国際化への対応として「英語教育の充実」等文言を入れていただきたい。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の文章に追記するとともに、「具体的な施策」に「英語教育の推進」を追加

3. 「人 すこやか 共生」分野

NO	政策の柱	意見内容	修正の方向
12	未来を切り拓く学校教育の推進	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の1～5の順番について、3番が「教員の働きやすい環境、整備を拡充し、資質向上を図る」であるが、区民や子供達に対しての「4. 地域とともにある学校づくりを推進する」や「5. 良好な環境教育をつくる」が現在の3番より上にあるべきである。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の項目順について左記意見のとおり修正
13	未来を切り拓く学校教育の推進	学校の部活動に関する記載がない。近年、部活動を含めたスポーツ系の活動は全体的に減っているが、スポーツに携わる子供達が増えてほしい。	政策の柱「学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり」の「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」において「2 生涯学習・スポーツによるまちの活性化を推進する」の文章に、「部活動」の文言を明記。
14	未来を切り拓く学校教育の推進	「未来を切り拓く力を育む教育を推進する」について、人間形成、情操の育成、創造性を育むことなどにつながる、芸術教科や芸術の体験などの教育的な面の充実を追記してほしい。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「1未来を切り拓く力を育む教育を推進する」において具体的施策に「伝統文化理解の促進」を追加
15	未来を切り拓く学校教育の推進	就学動向もふまえ、すまいるスクールの子供達の安心・安全な参加、居場所の確保などの取り組みをお願いしたい。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「3地域とともにある学校づくりを推進する」においてすまいるスクールに関する文章を追加
16	青少年の成長と自立の支援	区が発行する青少年対策の概要という冊子の中に、「青少年対策地区委員会」、PTA関係だと、「家庭教育学級」、「地域健全育成運営協議会」、「社会を明るくする運動」という施策があったが、今回は、そのようなものは触れられていない。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の文章に具体性を持たせるため、「青少年委員」と「青少年対策地区委員」を追記。
17	青少年の成長と自立の支援	「ジュニア・リーダー教室や児童センターなどの～」という部分に、「地域における居場所の新設、拡充」など言葉を加えてほしい。事業の充実と併せて、居場所の新設なども検討もできればよい。居場所の新設にはメリットが求められるが、「学校教育」項目の個々の教育的ニーズに応じた支援とも関係している。家庭環境に課題がある子供も過ごせる居場所の新設ができるとよい。	「10年後の目指す姿を実現するための主な取り組み」に青少年が中心となる「居場所」として、すでに整備されているすまいるスクールを追記
18	高齢者が安心して暮らせる環境づくり	今後は高齢者の就業を支え、働きたい人には門戸を広げてはどうか。それにより元気なシニアが増え、子供達とも遊ぶ事ができるようになるなど、品川区は更に良くなるのではないか。	政策の柱「地域における共生社会に実現」の「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」において、高齢者だけでなく障害者なども対象として就業支援を行い、生活の質の向上や本人のいきがいつくりなど、いきいきと暮らしていくための支援を行うことを追記。
19	高齢者が安心して暮らせる環境づくり	高齢者は、介護や病気の対応が必要な対象とされているが、人生100年時代となり、元気な高齢者が多い。就労支援、地域社会への貢献や参加というアクティブで、能動的な位置付けになるような視点が欠けている。	政策の柱「地域における共生社会に実現」の「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」において、高齢者だけでなく障害者なども対象として就業支援を行い、生活の質の向上や本人のいきがいつくりなど、いきいきと暮らしていくための支援を行うことを追記。
20	高齢者が安心して暮らせる環境づくり	「高齢者福祉を担う人材の確保と育成」の記載について、「子育て」や「障害者福祉」の項目内では「人材の育成」と記載されているが、「高齢者福祉」だけ「確保」という表現が使われている。	障害者施策や子育て施策においても確保は重要な視点であることから、「人材の育成と確保」として文章を修正。
21	・高齢者が安心して暮らせる環境づくり ・障害のある人がいきいきと暮らせる環境づくり	10年前も同じ表題であったが、現在は社会福祉と社会保障と社会活動を合わせソーシャルインクルージョンという流れがあるため、高齢者、障害者という表現にしたほうがよい。	高齢者福祉、障害者福祉については柱の名称を修正。
22	平和で人権が尊重され多様性を認めあう社会の実現	品川区では「ライフ・ワーク・バランス」を使うと言っていたが、9ページでは「ワーク・ライフ・バランス」となっている。	「マイセルフ品川プラン」においても「ワーク・ライフ・バランス」と表しており、個別計画との整合性を図る観点から、「ワーク・ライフ・バランス」と表記。

3. 「人 すこやか 共生」分野

NO	政策の柱	意見内容	修正の方向
23	平和で人権が尊重され多様性を認めあう社会の実現	女性対策を政策の柱に入れていただきたいと提案したが、「女性の活躍と多様性を認め合う社会をつくる」という項目は「平和・人権・多文化」内にあり、政策の柱には挙がっていない。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「3女性の活躍と多様な生き方を認め合う社会をつくる」において、女性活躍の施策を記載する他、「地域」分野の「地域の活力を高める産業の振興」においも女性の就業支援を記載するなど、分野横断的に表現する。
24	平和で人権が尊重され多様性を認めあう社会の実現	「女性の活躍と多様性を認める社会をつくる」について、『マイセルフ品川プラン～誰もが自分らしく～』に基づき」というような文言を入れて、計画との連携を明確にすると良い。	「マイセルフ品川プラン」の基本理念にあたる表現となる「誰もが自分らしく、いきいきと安心して暮らせる社会の実現のため」を追記。 なお、個別計画については該当ページの欄に計画名を掲載するなどの方向で検討を進める。
25	平和で人権が尊重され多様性を認めあう社会の実現	「女性の活躍と多様性を認め合う社会をつくる」は何の多様性が分からないので、本項目は性の多様性や性的マイノリティなどの用語をしっかりと示していただきたい。	本項目では区民が性別に限らず様々な違いを理解・尊重し共生する環境を目指している。「多様性」という表現は様々な捉え方があることから、ここでは「多様な生き方」と改める。
26	平和で人権が尊重され多様性を認めあう社会の実現	「平和・人権・多文化」の項目でも性の多様性をしっかりと認め合い、性差なく住みやすい品川であると明確にお示しいたきたい。	本項目では区民が性別に限らず様々な違いを理解・尊重し共生する環境を目指している。「多様性」という表現は様々な捉え方があることから、ここでは「多様な生き方」と改める。

4. 「安全 あんしん 持続」分野

NO	政策の柱	意見内容	修正の方向
1	区民を災害から守る対策の推進	要配慮者への支援強化が、住民による自助、共助の枠組みになっているが変更が必要。災害から命を守ることを区の責務にすべき。	区の災害対策そのものが「公助」であるとの考えのもと、「地域の防災力を強化する」では「自助」「共助」への取り組み支援を記載している。「公助」をより明確にするため、10年後の目指す姿に「公助による総合的な災害対策」を追記。
2	地域特性を活かした計画的なまちづくり	都市整備の際に、集約整備や画一的なまちづくりではなく、地域に根ざした魅力的なまちづくりをお願いしたい。	政策の柱の名称を「地域特性を活かした計画的なまちづくり」とし、地域特性を明文化。
3	地域特性を活かした計画的なまちづくり	広町に係る記載について、具体的に庁舎と明記すべきである。	「10年後のめざす姿を実現するための主な取り組み」の「1魅力的で活力のある都市空間を形成する」の文中に、「新庁舎整備による行政機能向上や防災拠点機能の強化等を検討します。」と追記。
4	地域特性を活かした計画的なまちづくり	人口増加予測を踏まえた市街地整備や交通の整備、流入者の居住場所、高齢者の居住地の利便性、子育て環境としての配慮など、総合的な検討内容が書かれていない。	「現状と課題」に、「将来的な人口増や人口構成・昼夜間人口比率の変化等を踏まえた～」を追記。
5	地域特性を活かした計画的なまちづくり	「市街地整備」という言葉は、50年前の都市計画法で市街化区域と市街化調整区域に分けたことからきている。品川にはなじまないのので、都市計画やまちづくりなど、表現を工夫したほうがよい。	政策の柱の名称を「地域特性を活かした計画的なまちづくり」とした。
6	快適な交通環境の整備	高齢者や障害者を対象にし会員制のオンデマンドバスができると、様々な所に外出する機会も増え、健康寿命も伸び、介護費の軽減にもつながると思うので検討していただきたい。	「現状と課題」に「新たな公共交通システムやモビリティサービスについて検討していく必要があります。」と記載した。